

COP11 で記者発表された「都市と生物多様性白書(CBO)」

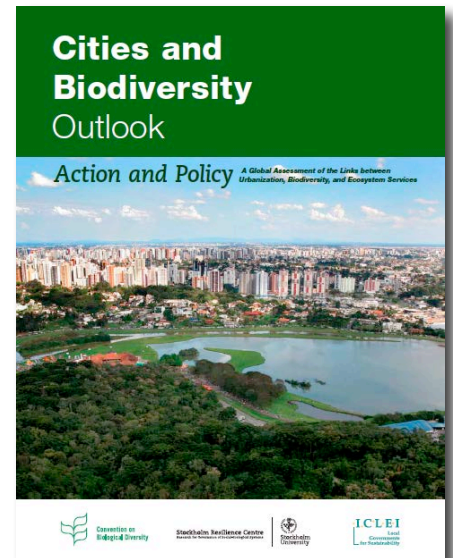
情報提供：川廷昌弘（博報堂）

これからの都市の課題は、ますます責任が重くなっていく。CO2、排出抑制、水と食料の安全、開発問題、そして生物多様性の愛知ターゲット。この白書は、土地利用、都市計画、グリーンスペースの重要性などを伝えるために、50の優良事例を構成しています。多様な研究者 100 人以上が取り組んだ、生物多様性の新しい課題のメジャーステップになり、スタートキットになります。生態系の保全だけでなく、都市の健康的で豊かな暮らしのためにも重要なもので、政策、社会システム、CEPA（生物多様性に関するコミュニケーション、教育、普及啓発）を考える事になります。10のメッセージを踏まえて、各国はCBOの国内レポートを作って行く事になるでしょう。自治体の積極的な貢献を期待しています（COP11で行われた記者発表でのディアス生物多様性条約事務局長のコメント）

＝以下、配布された [Cities and Biodiversity Outlook]より仮訳＝
序文

世界は都市化しています。生物多様性条約で、2020年をゴールに設定した意欲的な「愛知ターゲット」は、世界、地域、国、自治体などのレベルで、徹底した管理なくしては達成できません。都市居住者の習慣が、生態系の安定と生物多様性の将来を左右します。都市が、地球の自然資源の持続可能な管理を促進し率先しなければなりません。その取り組みは、革新的で刺激的で示唆に富んだものですが、まだ始まったばかりです。この出版は、持続可能な都市開発を推進するための新しく価値あるツールと自負しています。これを共有し、多くの仲間と共に地球の営みを守る行動を起こしていきましょう。

ディアス事務局長



「都市と生物多様性白書（CBO） - 行動と方針」の概要

ここでは、都市化と生物多様性と生態系サービスに関する総合評価の概要を解説しています。世界中の120人を越える科学者と政策担当者が、都市化が生物多様性と生態系サービスに及ぼす影響について解説し、都市における自然資源の保全と持続可能な利用を強化するための10のキーメッセージを提言するもので、科学的に詳細なアセスメント「世界的な都市化の概要 生物多様性と生態系サービス-挑戦と機会」の要約から構成されています。これは生物多様性条約事務局とストックホルム大学ストックホルム・レジリエンス・センターの共同作業によるもので、ICLEI（持続可能性をめざす自治体協議会）からの情報提供の多大な協力がありました。

世界的な都市化の概要 生物多様性と生態系サービス — 挑戦と機会

都市の拡大

世界は都市化し、アクセスが改善し、急速に変化しています。現在の傾向が続くと、2050年の世界の都市人口は63億人になると推定され2010年の35億人の約2倍です。2030年に予測される都市地域の60%以上はまだ建設されていません。このような拡張は大都市ではなく中小規模の都市で起こると予測されています。生物多様性および生態系サービスに密接にかかわる都市化プロセスの傾向は5つあります。

- 世界の都市面積は2000～2030年に3倍になると予測されますが、都市人口は約2倍、28億4000万～49億人と予測されています。言い換えると、人口増加より都市拡大のスピードのほうが速い。
- 都市化には世界規模で水などの自然資源の確保が重要であり、都市化は農地を消費し、生物多様性や生態系サービスに大きな影響を与える。
- 将来の都市拡大の多くは低経済力と低教育地域で起こるため、生物多様性の保全と生態系サービスの実施に懸念がある。
- 都市拡大は、生物多様性のホットスポットに隣接している地域や低高度、生物多様性の豊富な沿岸域で急速に進行している。
- 政策が存在しなかったり、情報が不足していたり、都市関連法令が整備されていない地域における都市化率は非常に高い。

Cities and Biodiversity Outlook – The 10 Key Messages

「都市と生物多様性白書—10のキーマッセージ」

The 10 key messages in this section highlight how urban planners, engineers, architects, policy-makers, politicians, scientists, and citizens alike can take on the challenges of reducing the loss of biodiversity.

生物多様性の損失を食い止めるために挑む、都会開発者、エンジニア、建築家、政策担当者、政治家、科学者、市民の取り組みが10のキーマッセージとしてまとめられている。

1: Urbanization is both a challenge and an opportunity to manage ecosystem services globally.

都市化は、全世界的に生態系サービスを管理できる挑戦と機会です。

2: Rich biodiversity can exist in cities.

豊かな生物多様性は、都市に存在可能。

3: Biodiversity and ecosystem services are critical natural capital.

生物多様性と生態系サービスは重要な自然資本です。

4: Maintaining functioning urban ecosystems can significantly improve human health and well-being.

機能的な都市生態系の維持は、人間の健康と幸福を大幅に向上させることができます。

5: Urban ecosystem services and biodiversity can help contribute to climate-change mitigation and adaptation.

都市生態系サービスと生物多様性は、気候変動の緩和と適応に貢献し、寄与することができます。

6: Increasing the biodiversity of urban food systems can enhance food and nutrition security.

都市の食物システムにおける生物多様性の増進は、食品と栄養の保全強化につながります。

7: Ecosystem services must be integrated in urban policy and planning.

生態系サービスは、都市政策と計画に統合されなければなりません。

8: Successful management of biodiversity and ecosystem services must be based on multi-scale, multi-sectoral, and multi-stakeholder involvement.

生物多様性と生態系サービスのマネジメントの成功は、さまざまな規模、さまざまなセクター、さまざまなステークホルダーの関与が必要です。

9: Cities offer unique opportunities for learning and education about a resilient and sustainable future.

都市は、レジリエントで持続的な将来のための、学習と教育の機会を提供しています。

10: Cities have a large potential to generate innovations and governance tools and therefore can—and must—take the lead in sustainable development.

都市にはイノベーションとガバナンスのツールを生み出す大きな可能性があります。したがって、持続可能な開発においてリードすることができ、そしてそれを実行しなければならないのです。